

## 北海道開発局事業審議委員会（令和6年度第4回） 審議案件一覧【事後評価】《水産基盤整備事業》

	事業名	上段：前回評価 下段：事後評価	事業の概要、目的・必要性等	事業期間		総事業費 (億円)	事業の効果の発現状況	費用便益比 全体 B/C※1	総費用 (億円)	総便益 (億円)	今後の事後評価の必要性 等	備 考
				事業化年度	完了年度							
後～3	仙法志地区 直轄特定漁港漁場整備事業	前回評価 (H25)	全国的に有名な利尻コンブやエゾパフンウニを代表に島内漁業生産の2割を占める生産拠点として、また、周辺海域で操業する漁船の漁業前進基地及び避難拠点として、衛生管理の強化を図るための岸壁、漁業活動の効率化及び就労環境の改善を図るための防風雪施設等の整備、荒天時にも安全な漁船避難を可能とするための防波堤等の整備を行う事業である。	H19	H30	45.4		1.22	45.7	55.6	漁業経営の安定及び地域経済の振興に寄与されており、想定した事業効果の発現が認められているため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考える。	
		事後評価 (R6)	同上	H19	H30	45.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物生産コストの削減効果 漁船見回り時間短縮、漁船損傷被害の回避等、漁業活動の効率化及び安全性の向上が図られた。</li> <li>・漁獲物付加価値化の効果 異物混入防止等により魚価の安定化が図られた。</li> <li>・漁業就業者の労働環境改善効果 屋根付き岸壁や防風施設の整備等により、作業効率が向上し、労働環境が改善された。</li> <li>・避難・救助・災害対策効果 港内への漁船避難が可能となった。</li> </ul>	1.20				
								(1.70)				
								[2.07]				

※1 1段目：社会的割引率を4%に設定して算定したB/C  
(2段目)： " を2%に設定して算定したB/Cの参考値  
(3段目)： " を1%に設定して算定したB/Cの参考値